

## IV. 評価委員会による評価結果

東京都台東区立産業研修センター	
指定管理者の名称	(公財) 台東区産業振興事業団
所管部課	文化産業観光部 産業振興課

### 評価委員会による評価

#### 1. 評価の観点

- ※ 「評価の観点」(1)～(6)における委員会の評価については、委員会の合議により決定した。
- ※ 「委員のコメント」及び「評価委員会から区への意見」については、評価の過程における多様な意見を報告書に反映するため、各委員から出された様々な意見を記載している。

#### (1) 管理の適正性

委員会の評価	<b>19点</b>	(【参考】区の評価：19点)
--------	------------	----------------

#### ●委員のコメント

良い点
<ul style="list-style-type: none"><li>○緊急時対応マニュアルが整備されており、緊急時に適切な対応体制をとることが期待できる。</li><li>○区と指定管理者の間で連絡調整が図られ、区との連携をはじめ、管理の徹底に関して、相当の努力が見受けられる。</li></ul>
改善すべき点
<ul style="list-style-type: none"><li>○施設の休館日が月曜日であり、シフト制で勤務しているため、施設担当者が不在の際に対応困難になるなど、区と指定管理者の連絡調整に軽微な課題がある。</li></ul>

その他
<p>○区と指定管理者の適切な連絡調整体制を整備することを期待したい。</p> <p>○特に新規利用者の取り込み方について、区と綿密な連携を取りながら事業を実行してほしい。</p> <p>○マニュアルは、随時改定を重ね、実務に即した内容へのブラッシュアップに努めてほしい。</p> <p>○指定管理者の公募・非公募に関する情報の周知に努めてほしい。</p>

## (2) 事業の運営

委員会の評価	<b>16点</b>
--------	------------

【参考】区の評価：19点

### ●委員のコメント

良い点
<p>○ものづくり工場の卒業生の約9割が区内で事業を立ち上げるなど、着実に実績を上げている。</p> <p>○小中学校教員を対象とした革工芸講座は、教員が講座で得たことを教育の場で活かし、子供たちの地場産業についての理解が深まることを期待できる。</p> <p>○前年度に比べて会議室の利用人数が増加しており、現状の立地環境、業界環境の中で、集客を上げる努力をしている。</p> <p>○アンケートの利用者の声を通じて、研修の満足度を向上させる努力をしている。</p>

改善すべき点
<p>○特に午前中において、会議室の稼働率の向上が望まれるため、会議室の利用目的をより柔軟なものにするなどして、午前中の需要開拓や若年層の利用拡大を図っていただきたい。</p> <p>○会議室の利用予約のためには直接窓口にお問い合わせなければならない、区民にとって必ずしも利用しやすいシステムになっていない。</p>

○既存の利用者層の声のほか、利用者を増やすためにどうすべきかをもう一度ゼロベースで検討する必要がある。

○事業告知方法について、改善の余地がある。

### その他

○会議室の利用予約について、長期的にはホームページでの予約を可能にするシステムを構築するなど、利便性を高める取組が必要ではないか。

○「皮革産業資料館」をより訴求して区内・区外の利用者を増加させ、その施設とシナジーを働かせながら、皮革産業への理解促進を図ってみると良いのではないか。

○最近中小企業は、人を確保するために、自社研修を充実させているところが多いので、中小企業に対して研修を実施する場として PR してはどうか。

○平日は企業や団体等の会議室利用が見込まれるため、月曜日休館の見直しを図った方が良いのではないか。

### (3) 施設の維持管理

委員会の評価

20点

【参考】区の評価： 20点

### ●委員のコメント

#### 良い点

○設備が古い部分もあったが、工房、作業室等、整理が行き届いており、設備が適切に管理されている。

○ものづくり工房では、単独で購入するには高価な工具などが共有スペースに設置されており、初心者クリエイターの利用には大変便利だと思われる。

#### 改善すべき点

○古くなった机や椅子など必要な設備は随時入れ替える必要がある。

### その他

○機械のメンテナンスはしっかりやれているか、また、危険物管理者の有無のチェック等が定期的に必要ではないか。

#### (4) サービス向上の取組み

委員会の評価

17点

【参考】区の評価： 20点)

#### ●委員のコメント

##### 良い点

- 利用者アンケートを実施し、アンケート結果からも利用者がおおむね満足していることが伺え、望ましい状況である。また、利用者の要望を適切に取り入れ、講座の充実等の改善につなげている。
- 施設の公開や地域のイベントと連携するなど、地域に開かれたサービスを展開している。
- 限られた資源の中、現状では充分の内容と思われる。

##### 改善すべき点

- カルチャースクール系ではシニア層がメイン、革工芸教室やファッションデザイン画講座では若年層がメインなど、利用者層が異なっている様子が伺える。特定の利用者のリピート利用のほか、若年層が参加したいと思う事業の開拓など、参加者層のバランスが取れるように講座を実施していただきたい。
- 利用者が増えているものの、特定の講座に集中しており全体の底上げには繋がっていない。もっと集客を高める販売促進策を検討すべきである。

##### その他

- アンケート結果によると、会議室で開催される講座については、センターからのチラシと台東区の区報によって存在を知るパターンが多いようである。新聞購読率も低い昨今、それでは情報が到達しにくい。台東区や施設のホームページ等の活用を図り、当センターの活動や稼働状況が把握できるようにするのも良いのではないか。

○立地により集客に苦戦するだろうが、今後は SNS 等をうまく活用し、地域住民や周辺企業だけでなく台東区全体に波及できるよう取り組んでもらいたい。

○利用者の年齢層が高いため、若い人の参加が増える事業内容の見直しについて、指定管理者だけでなく、区と連携しながら検討いただきたい。

## (5) 収入支出

委員会の評価

17点

【参考】区の評価： 17点

### ●委員のコメント

#### 良い点

○会議室の利用人数及び稼働率は増加しているなど、事業の遂行に関して苦勞している中でも結果を出している。また、経費節減にも努め、適切な予算執行がなされている。

#### 改善すべき点

- 会議室等施設利用収入は目標を下回っており、改善が期待される。
- 会議室の稼働率上昇により、さらなる積極経営ができるのであれば、それが望ましい。
- 利用料金収入の予算と決算数字が大きく乖離している。予想値の精度を高める必要がある。

#### その他

- 会議室の稼働率を上げるため、同建物の4階にある橋場老人福祉館との連携はできないか（空き会議室情報の提供等）。
- 公益目的事業を主たる事業とする公益財団法人ではあるが、収支が赤字であることが当たり前になってはいけない。自主事業での早期黒字化を目指してほしい。
- 民間と異なり、黒字化を果たす必要はないという意見には同意する。

(6) 優れた取組み

委員会の評価	7点
--------	----

【参考】区の評価： 3点)

●委員のコメント

良い点
<p>○「教員対象革工芸講座」は、皮革産業のノウハウを伝承するために大変重要であり、また区の地場産業に対する理解を深めるという意味でも、素晴らしい取組みである。</p> <p>○区内の教育機関との連携や革に親しむ事業の実施等、地域に特化したものは高評価が与えられる。</p>

その他
<p>○教員対象だけでなく、夏休み等の長期休暇時期に、区内在住の親子を対象として同じような講座を展開することも、直接的な地場産業への理解促進につながるのではないだろうか。</p> <p>○「教員対象革工芸講座」の取組みを強化してほしい。</p> <p>○「教員対象革工芸講座」に関して、一般社団法人日本皮革産業連合会などとの連携を図ることで、運営に関し、費用や人に関するのブラッシュアップや軽減化が図れるのではないかと。</p>

## 2. 総合評価

総合評価は、5 ページに示した基準に従い、「評価の観点」の結果に応じて評価を付した。

委員会の評価	<b>良好</b> ( 96 点 / 110 点 )
--------	-------------------------------

【参考】 区の評価：良好  
98 点 / 110 点

### ●委員のコメント

- ものづくり工房の取組は、地場産業の継承という観点から高く評価することができる。
- 会議室の利用に関しては、予約システムの改善やより積極的な広報活動等を通じて、稼働率の向上が望まれる。
- 限られた予算の中で、職員の皆様方が精一杯の努力をしてくださっていることがわかる。時代の変化とともに、柔軟なセンター運営が必要となってくるため、区と連携しながら、時代のニーズにあった研修センターにしていていただきたい。
- ルールに則った運営がなされているだろうが、立地からの集客不足は否めない。集客の強化が課題になるので、SNS 等時代にあった施策を打ち出してほしい。
- 施設管理の観点からは高評価であるが、事業に関しては地場産業振興の役割を果たし切れていないのではないかと。

### 3. 評価委員会から区への意見

#### ●委員のコメント

- 引き続き区と産業研修センターの連絡調整を強固にするための取組を進めて頂きたい。
- 正面玄関からすると奥まっているが、俯瞰すると、隅田川沿いの絶好の立地で、若いクリエイターの想像力を書き立てる立地にも見える。センター運営が柔軟にできるように諸運用規程などを見直していただくなど、ものづくり工房が若いクリエイターの集積するエリアとしての存在感を増すことができるよう、区として画期的なサポートをする姿勢がほしい。
- 自主事業の集客は、センターに任せるのではなく、区との連携が重要である。いかに区から区内の企業へアピールしていくかが鍵になる。最近、中小企業は、人を確保するために、自社研修を充実させている企業が多いので、中小企業に対して研修を実施する場としてPRし、利用数や稼働率を高めてほしい。
- 工作機械が見るからに旧式のものであり、より力のあるクリエイターの卵にもものづくり工房の存在を魅力的に感じさせるためにも、設備のブラッシュアップをお願いしたい。また、設備の入れ替えに加えて、工作機械の利用条件を緩和することで、区内の企業の商品開発等の利用を促進し、企業誘致に繋げることはできないか。
- 産業研修センターは、「台東区の中小企業の振興や勤労者の皆さんの福祉の向上を図るための施設。」であるが、行っている事業は近隣住民へのサービスに偏重しているように見受けられる（事業のアンケート結果では、参加者の実態は高齢者の業界外の方が多い。）ため、皮革関連産業のニーズの把握に努めるべきである。人が来ないからそうせざるを得ないという判断だと思うが、業界との連携のほか、若い方の意見の活用を積極的にお願したい。



## 区による評価

平成30年度 指定管理者施設管理評価シート			部課名	文化産業観光部産業振興課		
施設名称	7	東京都台東区立産業研修センター	指定管理者	公益財団法人台東区産業振興事業団		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募	<input type="checkbox"/> 継続特例	<input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定期間	H28. 4. 1	～ H33. 3. 31

### 1. 施設および事業の概要

(1)	[設置目的]	台東区の中小企業の振興及び勤労者等の福祉向上並びにものづくりに携わる事業者の育成を図り、もって区内産業の活性化に寄与する。
(2)	[所在地]	台東区橋場1-36-2
(2)	[規模]	●旧館：延床面積 932.78㎡ RC造3階建 事業者支援施設(貸事務所9室) 機械研修室 ●新館：延床面積 1,179.04㎡RC造4階建(4階橋場老人福祉館併設) 会議室 研修室 皮革産業資料館兼図書コーナー
(3)	[委託事業]	サービス提供：登録団体への各研修室、会議室等の貸出 事業者支援：浅草ものづくり工房入居者への支援
(3)	[自主事業]	中堅技術研修・革工芸教室・CAD講座・語学教室・情報化、国際化支援セミナー・太極拳教室等実施
(4)	[利用者]	区内在住・在勤者 登録団体
(4)	[利用料金制]	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他( )
(5)	[開館日・時間]	①毎週月曜日 ②国民の祝日に関する法律に定める休日(月曜日の場合はその翌日) ③1月2日、3日 ④12月29日から31日まで を除く毎日・午前9時～午後10時
(6)	[人員体制]	4名 (内 訳) 産業研修センター所長 1名、事務職員 3名 (前年増減) -1

2. 予算決算		28予算	28決算	29予算	29決算
収入	委託料(指定管理料)	16,767,000	15,677,761	16,906,000	16,040,547
	利用料金収入	4,416,000	3,729,350	4,296,000	3,836,215
	その他収入(光熱水費・前期繰越金)	1,653,000	1,447,158	1,661,000	1,658,233
	計	22,836,000	20,854,269	22,863,000	21,534,995
支出	人件費	0	0	0	0
	光熱水費	3,241,000	2,801,981	3,199,000	2,961,341
	維持管理費(委託料・賃借料)	16,291,000	15,690,221	16,102,000	15,988,769
	修繕費	340,000	167,292	581,000	550,180
	事業費	2,896,000	2,170,175	2,933,000	2,009,505
	その他支出(雑支出(町会費等))	68,000	24,600	48,000	25,200
	計	22,836,000	20,854,269	22,863,000	21,534,995
収支			0		0

3. 活動指標	単位	(目標値)31年度	27年度	28年度	29年度
研修センター会議室利用人数	人	12,000	10,371	10,472	11,318
ものづくり工房入居事務所数	室	9	9	9	9

4. 成果指標	単位	(目標値)31年度	27年度	28年度	29年度
研修センター会議室稼働率	%	22.6	20.0	20.5	21.8
ものづくり工房事務所稼働率	%	100	100	100	100

### 5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

皮革関連産業団体が3日間会議室を貸切り、事業を実施したため、貸出人数が増加し、稼働率も増加した。また、浅草ものづくり工房では、第5回施設公開や浅草文化観光センター展示室を利用し、「ものこぼクリエイター展」を開催する等、活発に活動し、広く施設全体のPRに努めている。

6. 評価の観点	
(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
19 / 20 点	管理基準に基づき、利用受付や承認が速やかに処理されている。また、危機管理や個人情報保護も適切に処理されている。区との連絡調整においては、速やかに行える体制を整えておく必要がある。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	研修等の自主事業では、今回の受講につながるよう内容に工夫がみられ、利用者に対するの対応も良好である。施設運営にあたっては地場産業団体との会議の中での意見を踏まえて改善を図っている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	施設管理は、管理基準を基に点検等を実施しており、業務日誌や施設利用者報告書等によって区に適切に報告されている。清掃業務及び夜間施設管理はシルバー人材センターに委託し、効率的かつ適切に実施している。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	自主事業等でアンケートを実施し、その結果をその後の事業実施に活かす等、利用者の意見が反映されるよう努めている。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
17 / 20 点	施設管理の中で効率的な予算執行や経費節減に努めている。会議室の利用人数及び稼働率は増加傾向にあるものの、利用料金収入が増加したが予算額には届いていないため、自主事業を含め収入確保に向けての取組みが必要である。
(6) 優れた取組み 《加点点目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
3 点	教員等を対象とした革工藝講座を開催し、教育現場において次世代に台東区の地場産業である皮革に対する理解を深めるよう努めており、概ね期待通りの効果が得られている。
7. 総合評価	
極めて良好 (110~101) ・ 良好 (100~91) ・ 適正 (90~70) ・ 改善指示 (69以下)	
良好	【所見】 概ね協定等に基づいた適切な運営がなされている。また、利用者アンケート調査によりニーズに合わせた工夫をしている。稼働率の向上については、施設全体のPRを更に積極的に行っていく必要がある。
( 98 / 110点)	【各項目20点に届かなかった主要因・課題】 会議室利用状況は前年と比較すると微増の状態であるが、更に向上するよう活動内容を広く周知し、利用料金収入の確保に努める必要がある。また、区との連絡調整においては、速やかに行える体制を整えておく必要がある。